



PCAN-Explorer 6

CAN/CAN FDバスとコミュニケーションするWindows®ソフトウェア

PCAN-Explorer 6 は CAN/CAN FDネットワークで動作するプログラムです。
PCAN-Explorer 6 は同時に複数の CANおよび CAN FDのバスに接続することが可能です。
このソフトウェアを使用する上でのポイントは CANメッセージをシンボル表現できることです。

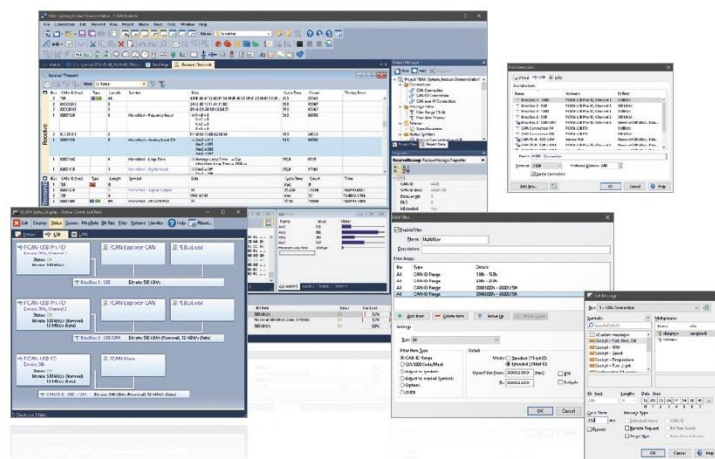
PCAN-Explorer 6 はトレースのプレイバックが可能です。レコーディングならびに入力される CANメッセージは様々な基準でフィルターすることも可能です。

特別な要求、複雑なプロセスの自動化などはマクロが用いられます。VBスクリプトによる高性能な実行で PCAN-Explorer 6 の広範囲のオブジェクト・モデルをアクセスできます。

更には PCAN-Explorer オプションのアドインにより解析機能が広がります。プロッタ・アドインは信号の時間をグラフィックに表示します。インストール・パネル・アドインは様々なディスプレイ、コントロール、スイッチなどをお好みに配置することができます。その他にも CANdbフォーマットに基づきサードパーティのコンフィグレーションをインポートしたり、J1939のプロトコルをサポートするアドインも用意されています。

主な特長

- プロジェクト内のすべての設定、情報、ファイルを管理
- アーカイブやシェアのためにプロジェクト
- 全体をリンクしたファイルも含めてエクスポート
- 新しいソフトウェア・バージョンを自動的にお知らせして、アップデートをサポート
- シンボル・ファイル、マクロ、VBスクリプト作成、編集するためのシンタックス・ハイライトを備えた統合テキスト・エディタ
- アドインを統合することで機能をアップグレード



CAN/CAN FDへの接続

- ハードウェアのタイプに関わらず複数のCANインターフェイスを同時接続
- CAN 2.0 A/BおよびCAN FDをサポート
- CAN のビットレートは最大1M bps
- CAN FD のビットレートは最大12M bps
- カスタム・ビットレートのオプション使用
- リッスン・オンリー・モード
- ビットレート、ステータス、エラーカウント、バス負荷など接続の概要が明白
- CANコントローラのハードウェア・リセット機能

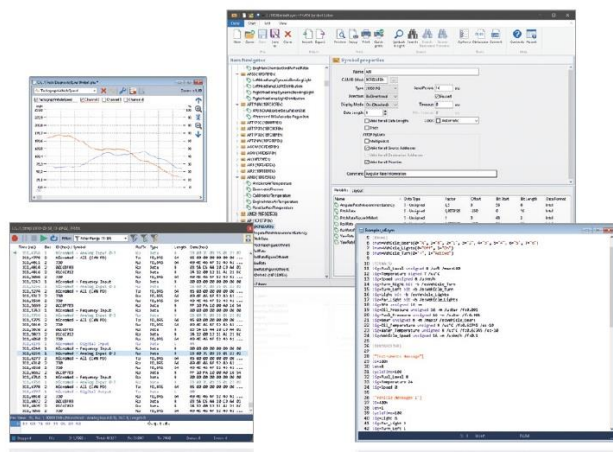
送受信

- コンフィグレーション可能なコラム・ディスプレイでCANトラフィック・データをソート可能な送受信リストに表示
- ID、データ長、データ・バイト、タイムアウト、受信メッセージ数、受信間隔などと一緒にメッセージを表示
- エラーフレームの表示は各接続ごとに動作可能
- CAN IDは16進または10進で表示可能
- 受信、送信、エラーステータスを表示
- メッセージの受信の分解能は最大100 μ s
- メッセージの手動および周期送信の分解能は最大 1 ms
- リモート・フレームに反応してCANメッセージを送信 (CAN 2.0 A/Bのみ)
- メッセージは希望により送信リスト、ストア、ロード毎にグループ化が可能 (例：CANノードをエミュレートする時など)
- 例えば送受信ウィンドウや様々なことなるトレーサーをアサインしたりなど、フレキシブルなマルチ・フィルターを設定可能



レコーディングとプレイバック

- オプションとして発生したエラーと共に CANトラフィック・データをロギング
- ループ機能でトレース・ファイルをプレイバック
- 同時に複数のトレーサーを動作
- タイムスタンプ、タイプ、ID、データ長、データ・バイト数等を一緒にログ・データを表示
- データ・バイトを16進、10進、ASCIIフォーマットで表示
- メッセージ・フィルタを通してロギングするためのメッセージのフィルタリング
- CANトラフィック・データのレコーディングを直接ファイルまたはRAM（リニア、ダイナミック、またはリング・バッファ・モードで）へログされたCANメッセージを直接プレイバック
- ログされたデータをExcelなどで読むことが可能なテキスト・ファイル/CSVファイルで出力可能

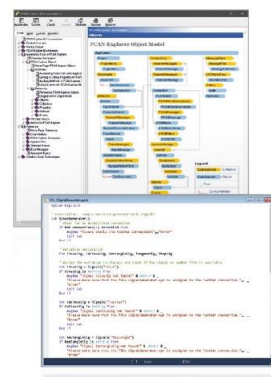


シンボル表示

- PEAK-System のシンボル・フォーマットに基づいたCANメッセージの明らかで読むことが可能な表示：
 - ・英数字名によるCANメッセージの簡単な割当て
 - ・名前、データ・タイプなどをアサインするのにデータをビットに正確に分割し変数にする
- 提供される Windows® ソフトウェアの PCAN-Symbol エディターやテキスト・エディターで快適なシンボル・ファイル作成
- Watch window によるユーザーフレンドリな信号のリアルタイム・モニター
- ライン・ライター・アドインで4信号までをグラフィック表示

マクロやVBスクリプトによる自動化

- 小さなタスクからマクロやVBスクリプトのプロセスの自動化例：
 - ・実行のためのテスト手順やCANシステムの開発
 - ・温度が超えた場合にEmailを送信する
 - ・特定のメッセージを受信した時に動作をスタート
 - ・イベントが起こるとExcelシートを開いてデータを個々のセルに保存
 - ・入力されるCANメッセージのデータから変数を計算
- 統合テキスト・エディターでマクロとスクリプトを作成
- 個々のマクロにファンクション・キーを割当
- PCAN-Explorer オブジェクト・モデルを経由してVBスクリプトからすべてのプログラム・エレメントにアクセス
- PCAN-Explorer インターフェイス無しにも関わらず、バックグラウンドでVBスクリプト・マクロを実行



推奨ホストPC

- Windows® 10/8.1 (32/64ビット)
- プロセッサ 1.5GHz 以上
- メモリ 2GB 以上
- ドングル用空きUSBポート (ポータブルのみ)

ライセンス情報

- PC固定のシングル・ライセンス

PCAN-Explorer 6	IPES-006000
Single Computer License	
- 使用するPCにドングルを挿してキーとして使うポータブル・ライセンス

PCAN-Explorer 6	
Portable License +	IPES-006000+
Copy Protection Dongle	IPES-006090



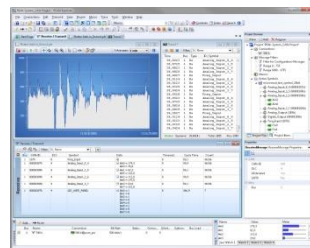
PCAN-Explorer 6 用 アドイン

PCAN-Explorer 6 のオプションソフトウェア

Plotter Add-in 6

CANデータをグラフ表示します。

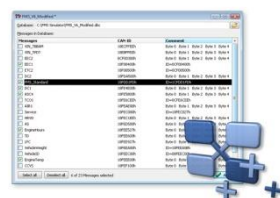
- リアルタイム ディスプレイ
- チャンネル数は無制限
- Y軸の数は無制限
- X軸、Y軸はレコーディング中であってもズームアップやスクロールが可能
- プロット測定のためのカーソル表示
- EMF、PNG、BMP、JPGフォーマットでエクスポート可能
- PCAN-Explorerの Traceからのデータのインポート



CANdb インポート Add-in 6

CANdbファイルのインポートができます。

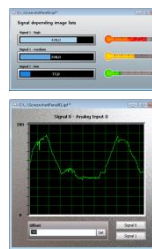
- CANdbファイルを開く
- CANdbファイルのインポートのためのメッセージの選択
- PCAN-Explorerでプロジェクト管理を使ってデータの保存
- PCAN-Explorer シンボルファイルフォーマットで保存



インストルメンツ パネル Add-in 6

インストルメンツ パネルは、デジタル信号とアナログ信号をグラフィカルに表示します。

- 受信したCANメッセージから別々の画面でアナログ信号とデジタル信号を表示
- 複数の要素の選択と構成が同時に可能
- ドラッグ&ドロップで自由な位置決め



J1939 Add-in Add-in 6

J1939アドインは、スタンダードパラメータグループによって確立されたすべての定義をサポートし、パラメータにアクセスするための簡単な手段を提供します。

すべての定義のデータベースと含まれるパラメータも提供されます。

SAE J1939ネットワークプロトコルのすべての機能に対応

- 最大254個のECUのアドレッシング
- マルチパケットメッセージをサポート

